



今月の特集

雑誌で話題の“歯医者選び”について ～前編～

昨今、新聞やニュース・雑誌等で度々歯科の話題が取り上げられています。

ハンドピースの使い回し

感染対策

治療の内容について

それもネガティブな話題ばかりです。

そして今年、某雑誌の3月29日号に、10ページにもわたり記事が掲載されました。シュンデンタルはどうなの？ という疑問にお答えしたいと思います。

1

混んでいる = 良い歯医者

「いつも待合室が混んでいる歯科医院は、良い治療をしてるはず」

※原文のまま掲載

当院では、患者さまごとにしっかりと治療計画を立て、それに沿って治療を進めていきます。毎回の治療時間も誤差が出ないようにプランニングしていきます。お約束で来院いただいておりますので、極力お待ちせしないようにご予約の時間をお取りしております。

2

プロフィールに「専門分野」がなければ要注意

医科同様に、歯科にも治療ごとに高い専門性が求められる。

HPに自分の専門分野や、出身校などの経歴を示さない歯科医も、避けたほうが賢明だ。

※原文のまま掲載

当院の院長である鎌田は、一般社団法人 日本歯科麻酔学会 認定医です。北海道全体で49名の認定医がありますが、その中の1人として活動しております。また、著作や講演・雑誌掲載などの依頼を受けており、歯科治療の様々なことについて真剣に取り組んでおります。

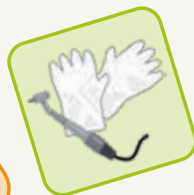
3

器具とグローブを変えるのが誠実な歯医者

患者の血液や唾液などに触れたものは、
感染リスクがあるものとして扱うのが、医療機関の常識である。
だが、厚労省の調査では、歯を削る器具のハンドピースを
「患者ごとに交換する」と回答したのは「52%」だった。

※原文のまま掲載

当院では、ハンドピースは患者さまごとに完全滅菌したものを使用しています。
また、使い捨てにできるものは極力使い捨てで対応しリスクを軽減。
グローブは歯科医師・スタッフ全員が患者さまごとに新しいものを使用しております。
ハンドピース以外の器具類も全て完全滅菌しておりますので、ご安心ください。



あ と が き

今回、たまたま雑誌の掲載記事を目にし、皆さまも同様にお考えのこともあるかと、
ニュースレターに書かせていただきました。シュンデンタルは、

“医療に真摯に、妥協なく、正しい歯科医療”

をご提供させていただきます。

後編はまたどこかのタイミングで書かせて頂きたいと思います。どうぞ、お楽しみに。

シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>